

YAKISOBA

こたつの上に置かれたホ
 □トプレ □トはもうすでに熱くな
 □で

キ□ツ しめじ にんじん もやし 野菜はそれぞれボウルに用意され
豚バラ肉 中華麺 青のり ソ□ス 必要なのはすべて用意されて

油は熱せられて煙立つ

まず最初に豚バラ肉が

ジ
ワ
と鉄板の上で跳ねた

と同時に音楽

ザ・テンプタ

今日を生きよう

♪ ああ□慙があるなら□何もいらない
おまえが□ひれば□何もいらない

きのうのことも□明日のことも 悩むことなく□合ひととき

愛し愛され〇合日を生きよう
ワン〇ワ 日内リ 日ヲ 〇日 〇

おまえが 好きだよ

強く抱いて欲しいよ

おまえが 好きだよ

ああ熱い口づけそれがいのち
せつない吐息それが言葉

愛の誓いは口をなしいだけ
胸の炎に身をまかせて

抱いて□抱かれて□今日を生きよう
ワン□ウ□エ□リ □□□□□□

おまえが 好きだよ

強く抱いて欲しいよ

おまえが
好きだよ

音楽が料理に合っているのか

料理が音楽に合□ているのか
みるみるうちに焼きそばが作られていく
音楽が流れき□ても
僕のアカペラが響く
き□とソ□のいい匂いが漂うだろう
出来上がると僕のアカペラもいい感じに終わる

ふう
焼きそばに全神経を集中させて作□たのだ
ふう
出来上が□で一息ついて
ふう
ゆ□ぐり目の前のあの子を見て
緩んで微笑んだ
お皿によそ□であげる
自分にも
そしてまた目を合わせる
両手をあわせて

僕
いただきます□す
き□とあの子と一緒に言□た
僕ら焼きそばを頬張る
一口食べて

僕
う□ま□！
き□とあの子も同じように言□た
目があ□で 笑う
それからほとんどに話さない
くらいに 焼きそばが美味しい
くらいに 一緒に食べることが嬉しい
言葉さえも いまは邪魔だ
僕があの子を見る
あの子も僕を見る
食べる

笑う

食べる

笑う

あの子とご飯

あの子と焼きそば

僕の頭の中では懐かしのテンプタ □が流れている

愛し愛され今日を生きよう

ワンツ □メリ □ □

シ □フラフラ

お前が

シ □フラフラ

好きだよ

僕はぺろりと平らげて

おかわりをする

あの子と笑う

頬張る

笑う

見つめる

頬張る

笑う

笑う

笑う

食べ尽くして

コ □い □はいの水を飲み干す

そして

ふう

一息ついた

心のそこからの

は □ □ □ □ □ うまか □ た

が溢れて そして厳かに

僕
ごちそうさまでした
！

あの子と一緒に声を合わせて
それからもう一度
あの子を見て あの子と一緒に笑

笑

僕はあの子になにかを言いたくて
気持ちはもういまかなり幸せだ
でもそれ言うの
言葉を探して

クサクならないような
ダサくならないような

それでいてこの気持ちがマ
言葉

まだ見つか
まとも

とまなくてとにかく
なんか言いたくてこの瞬間の今を今を
あの子に伝えるために
幸せい

瞬間 暗闇

スマホの青白い光だけ

僕の顔だけが照らされる

真
その明かりだけ

つぶやいているような
ささやいているような
歌

タララララ ラララン
ラインの呼び出し音
タララララ ラララン

真

あの子に繋がるのを待 □てる

僕 そんな時代もあ □たねといつか話せる日が来るわあんな時代もあ □たねとき □と笑 □
て話せるわだから今日はくよくよしないで今日の風に もしも □ もしも □

タラララララ ラララン

タラララララ ラララン

待 □ている間のこの音に自分が耐えられなくて

僕 自分がビビ □でんのか甘く考えてんのんか流されてんのんかももうあんまり分からなく
てインフルエンザの死者 □で12万人やねんからそこまでビビることち □うてタクミが言
うててあほかそういうことやなくて医療崩壊 □て話がべ □数とか人工呼吸器 足らんく
な □た時にほんまや □たら助かるはずがトリア □で溺死 陸で溺死するみたいに強烈に
苦しんで死んでまうから残酷なんや □でジ □タロウが言うて そんなんよりこの先
ど □すんねん □でカマチが叫びだして面接 7つとも中止であ □前の仕事こんな時期に
止めへんか □たらよか □た □で そしたらキサラギがでも周りに感染したやついるか □で
聞いても誰もおらん知らん友達の友達がくらい遠いやんなやんなそうやんな □で言
いながら でも僕いつも行 □てるコンビニの店員がとうとう熱出してあかん平気な顔して
るけど手震えて家帰 □でアルコ □ルで弁当ふいてや □はビビ □てる自分がお □で分からん
からビビるんやろう □でほんまところ誰もなんも分か □でないから怖いんや □でそのコ
ンビニの駐車場の隅 □で競馬新聞読んでもお □さんがヤニ臭い息吐き出しながら 大し
たことないマスコミがあればら新聞売りたいから騒いでるだけでやから大したとないね
ん □でこいつアホマジアホか □で思いながらでもお □さんの言うことが真実かもしれん
とかもう分からん □でな □なんで出 □へんねん 出て □で な □

と またタラララララ ララランと掛け直す

僕 見えへんからつかめへんし見えへんから実感ないくせにビビ □てるビビ □で見えん誰
かの視線見える通帳残高払えん電気代家賃水道代き □お金とかもうやり方よう分からん
し夜中にいきなり目冷めて汗び □し □りでもし自分が感染したらどうする煙草やばい煙
草吸 □てる焦 □で怖な □で言われへんよな □熱があ □でもないふりするかもしれへんそれ
はあかんやろけどや □でまうかもしれへんビビりながら眠 □で朝起きて太陽見たらま □い
うてもどうせ風邪程度で済むやろう □で急に根拠ない自信で安心昨日の夜の自分と正反対
でそれよりも自分のせいで誰かに移 □でその人がもし例えばもし大変なことにな □たらど
うする □で罪悪感よりもそれがバレたらあの日あの時僕に会 □で会話して感染したんや誰
のせいこいつのせいあいつのせい僕のせいは □きりく □きり道筋目に見えたときに大丈夫

か周りからの視線僕大丈夫なんか□でそんなことば□かり考える最悪や何怖が□てるか□
て僕のせいにされたらどうしよう□てえこんな最悪な奴や□た□け違う違うこんな僕
ち□ういまはあれやからいまは非常事態で雰囲気は空気が勝手にこういう考え方にさせら
れてい□てるような気にな□てきてあれ

僕 スマホの画面を見た

僕 ぜん□ぜんで□ん！

と またタララランと掛けなおす

僕 ウイルス□で なんやろ

僕 あかんわ頭が忙しい頭からも感染してるし毎日人数が目に見える数字で毎日増えて
毎日毎日毎日それがもう当たり前でそれや□たらさ□だと感覚麻痺してくれや□て思うの
にせ□んせ□んせ□ん真夜中に汗かいて目さめる回数ば□かり増えていくスクロ□
ルスクロ□ルスクロ□ル来月の家賃どお□しよかな□スクロ□ルスクロ□ルいつ終わるね
んスクロ□ルスクロ□ル誰のせいやねんスクロ□ル見たないのにスクロ□ル見てもあんま
意味ないもんば□かで埋もれてスクロ□ル別に何も言いたいことなんかないのになんか言
わなあかんような空気雰囲気圧が圧が画面に圧がスクロ□ルいつまでやねんこれいつまで
スクロ□ル止まらん止まらんくてスクロ□ルスクロ□ルの指が止まらん頭忙しいのが止
まらんこれ感染なんち□うやろかスクロ□ル頭ん中に入り込んでスクロ□ルこ□
ちがほんまの感染なんち□うかな□□□スクロ□ルスクロ□ルスク
ロ□□□□□□□□□□□□□□□□！

僕は耐え切れなくな□てスマホを投げつける
と 電話 鳴る

僕 あ

僕 はのろのろと 手を伸ばす

僕 もしもし おかん うん うん ありがとう お米届いた ありがとう め□ち□助
かる うん ？

僕 少し考える

僕 いや 帰るんは いま帰るんはマズいと思うで おとん この間心臓カテ □アル入れたとこやんあか □で こ □ちヤバいくらいすごいから え カテ □アルいつの話 □で え おかん何言うてんの え 僕？ □西丈夫や心配せんと ほんまに え 僕？ □西から大丈夫僕は大丈夫 だいじ □

自分が 大丈夫なのか そうじ □ないのかも
本当はよくわからない
涙が意味もなく流れている
なのに笑 □てる

僕 え おかん 何言うてんの？

僕は なんとなく分か □ていながら
自分で分からないふりをする

僕 あんな おかん あいつ 全然電話出 □んねん そ □ちや □たらどうにか連絡繋がられるんち □うの？ □全然出 □んくて おかんの手芸教室の生徒の友だちの友だちの友だちがあいつのおかんや □で言うてたやろ？ □□んとか連絡

僕 息がつまる

僕 え

僕は 分か □ていたのに
分からないふりで見ないことにしていたカレンダー □に視線をうつす

僕 ああ ごめん

僕 ああ 今 何月や □た □け

カレンダー □の日にちに 指さして

僕 あ ごめん 僕 また や □てもた ？

電話をしながら

カレンダー□を破る

1枚

2枚

3枚

4枚

5枚

6 7 8

僕 ああ そうや□た

僕 うん そうや□たな 分か□てる もう そんな時間 経□たんや そう
や□た 僕 お葬式 行□たのにな □あんな時期でも関係あるか □て僕行□たのに 時
間が 時間があの時に戻る みたいで ごめん これもち □□と前に同じ会話をしたな
ごめん 大丈夫 僕は大丈夫で うん

僕 通話を終える

僕 戻らんのに

僕 スマホを見る

僕 戻らんから

指で画面を操作して

僕 これ見て確認せな また確認

そこに書かれてある

長い長い最後の言葉を読む

あたし

や □ぱり春が好きやから

あんなあたしな

春生まれで桜好きやから

お花見 出来ひんか □たやん？

もう葉桜やけど

夜中や□たら人すくないかな □でなんや □け？□□
ソ □レデ □スタンス？□□

葉桜でも一緒に見たくて電話したんやけどかからへんくて
やからLINE 送 □てくね
気づいたら連絡ち □うだい

充電？

切れたんかな □でし □あないな □でも桜きれいなんよ
一緒に見たか □たけど

あんなあたしね変なこと言うけど絶対誰にも言わんと □でね
非常識 □で 言われるから

こんな時期に □で 言われるから
これやから若い子は □で

あんなあたしな

週末 バス乗 □で会いに会いに会いたいな □で
でもなあたしの仕事 利用者さんのおうち

一人暮らしのおじいち □んとかおばあち □んの様子
ち □んと見て回らなあかんやん？

だからし □あないでも高速バス予約してた

東京行き

少しずつ再開し始めてるから予約取れて
いきなり行 □で驚かしたくて でもあかんのにな 予約してしもて

行かへん 行かへんよ ほんまに仕事の仕事やもん
行けるかもしれへん □で気持ち味わいたか □ただけ

でもち □どは ほんのち □どは

目がさめたら全部全部いろ □んなことが解決してて
何もかも元どおり □でわけにはいかんくても

60パ □ぐらいは元に戻 □でて

そしたら会いに行けるかも □で

そんな気持ちで朝 楽しい気持ちで 朝目がさめる

朝ごはん食べ終わる頃には テレビからニ □□スうるさくて
そうならんことをわざわざ教えてくれて悲しくな □でも

目さめた瞬間は 楽しか □たんよ

バスの出発時間 あたし家でじ □ど時計見てた
し □あないもん

その時 あたし泣きながら電話してもたやん？

どおしたん なんで泣いてんの □で聞いてくれたけどバスのこと

あたし よう言われへんくて

言うてもたら 会われへんことが余計に

おきく膨れ上がて悲しいどころやなくなるから
ごめんな

自分で電話したくせに

泣いてばかりであの時間もたいなかた

泣きはらした顔で仕事場に行たら

オオゴトなて

ヨちん

高校の時の2コ下の後輩の 同じ職場の

検査結果出て そこから 時間が あどという間で

忙しくて ああ 仕事がていうわけじなくて
みんなの頭の中が

ヨちん この前の週末に出掛けたみたいで
でもうちらみんな電車乗て毎日職場行て

どこでとかもう分からんけど

なんでか仕事場の人らみんなヨちんの行動調べてて

あたし 仲良かたから あたしも調べてられて

言うたかもしれへん 会いたいて

会いにいけたらいいんですけど

とか 言うたかもしれへん

でもなんかもう行たことになてたり

ヨちん 熱下がても下がらんくても自主退職で

自主じないでこんなんおかしいて電話

かかてきたけどあたしなんにも出来ひんくて

だてあたしもいつのまにか自主退職で？

あれ なんか よう分からん

でも会いたいなて バス予約したのはほんまで

こんな時にて自分でも思いながら

会いにいたんちうのて言われ続けてたら

もしかしたらあたし会いにいたんかもなとか

なわけなくてあれいま あたしちど変やんな？

連絡ちうだい

な声聞かせて

話しよ

そしたらいつものあたしに戻ろと思うねん

いま夜のな　桜並木　緑ば　□かりやけど　歩いてたら
もう桜ないのに

風に舞　□で桜　雪みたい

見えたような気がして

そしたらなんか　分かりそうで

うまく言われへんけど

あたしが生き残りたいのと同じように

仕事場のみんなが　生き残りたいのと　同じように

もしかしてこれ　□で

地球が生き残りたくてや　□でることや　□たら
とか

地球が熱を出してる　とか

人間　増えすぎたんかな　□で

あたしらが　雑草　引　□に抜くみたいに

人間増えすぎたらどうせ地球もなにもかも

全部みんな誰も才　□ですべてパチン　□で終わ　□でしまうから

そうなる前に　地球が熱出してる

ごめん　いま　あたし　変やね

でもあたしまた焼きそば一緒に食べたいんよ

あたしおらんくな　□たほうがもししたら

地球にはええのんかなとか

仕事場の人らにと　□ではそのほうがええのんかなとか

ごめん　いま　あたし　変やね

連絡ち　□うだい

な　□声聞かせて

話しよ

だ　□でみんな生き残りたいもん

地球も　生き残りたいんかな

でもヨ　□ち　□ん　もういやや　□で泣いてた

ほんで　あたしも　たぶんもういやや　□で　泣いてるんやけど

自分でももう分からへんの

あれから何日経　□た　□け　そんなに経　□でへんのに

いろんなことが　もう　あ

て思　□で

集団免疫　あ　□　□で

そうかウイルス　□で　全滅はさせへんのや　□で

ヨ □ち □ん 泣いてた
全滅させる □でこれや □で
連絡ち □うだい
な □声聞かせて
話しよ
人間だけや
いろんなもん根絶やしにするな □□で
あたし
あ 気づいてしもんたんよ
連絡ち □うだい
な □声聞かせて
話しよ
根こそぎ根絶やし絶滅させて
なんもかんも全部 叩きつぶせるんは
人間だけや □で
気づいたんよ あたし
焼きそば
連絡ち □うだい
な □声聞かせて
話しよ
あの時作 □でくれた焼きそば
おいしか □たね □
焼きそば
また食べたい
連絡ち □うだ
でも無理かも
声 しか
話
あ
ごめん
いま
あたし
ち □□と変やね？

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン
タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 出て

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 出してくれ□で

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 な□！

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 これ見た時もう三日も前のLINEで

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 他にどう連絡とりようもなく□で

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 バイトなくな□たから携帯止められて

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 でもこれライフラインやから

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 絶対絶対すぐ復活させな□で急いでカマチに金借りて

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 な□！

タラララララ ラララン
タラララララ ラララン
タラララララ ラララン
タラララララ ラララン

僕 だから出て ！

ふつりと
呼び出し音は突如終わる
画面を見つめる

僕 戻らんのに

画面を見つめる
見つめる
見つめる

僕 何回確認してんねん これ

見つめる

僕 こんな時間経□でもまだ でも まだ
ふと考える

僕 誰に 殺されたんやろう

誰のせいでもないけれど
ああ と納得してしまう

僕 僕か

僕 僕やん

僕 繋がらんか □たやん

僕 最後の最後は

今が何月何日であれからどのくらいの時間が過ぎたのか
僕はすぐに分からなくな □で
気付きながらも

僕 ごめん いま 僕 変やんな ?

誰に言うわけでもないが
つぶやいた

ああ

恋があるなら
何もいら
ない
おまえがいれば
何もいら
ない

つぶやくように

歌う気もないが歌 □た

突如 電話が鳴る

パチンと夢から覚めたように

僕 あ

僕 はい もしもし

ぼんやりと正気のない声が

僕 はい

ただ返事をしているだけでも

僕 はい

は □きりとした

僕 はい

輪郭のある声に

僕 はい そうです

変わ □でいく

だらりとした体も

いつしか きちんと誰かの話を聞く体へと
変化している

僕 はいなんでも なんでも聞きます

僕 なんでも話してください

僕 あの どなたから僕の電話番号を？

僕 あ □ ああ はいはい そうですか あの お元気で
たです はい ええ ほんまにいつでも
ああ 良か □ た 良か □

僕 電話してください

僕 繋がります

僕 繋がるように します

しかし僕はまだ自分を取り戻せたわけではない
元には戻らない

僕 僕もまだ これが なんになるんか 意味あんのかさえ 分か□てないんですけど
ただ相槌打つことくらいしか出来ませんけど やりながら 僕 時間が戻□たりして時々
自分でも変やな すみません これ便利で これ あ□たから助か□たことい□ばいあ□
てだからう□かりぼ□かり繋がらんか□たときにこんな取り返しがつかなくて 繋がるこ
とのほうがもしかしたらすごいことなんかもしれへんのにすみません こ□ちが話聞く側
やのに すみません 僕ば□かり話して

ひらり

桜 花びら一枚

僕の目の前にひらりと

僕 桜

ひらり

ひらり

風に舞□で

桜の花びら

空に

雪のように舞う

僕 春や□た

僕 あの時

僕 もしもし言われへんか□た

僕 エア焼きそばしよか とか

僕 ほんでそのうちほんまもん作□て一緒に食べよかとか 約束

僕は生きなければと焼きそばを食べる

おわり